

佐賀大学医学部研究業績年報

第 18 号

2003 (平成15年)

佐賀大学医学部

はじめに

佐賀大学医学部長 向井常博

平成16年4月、旧国立大学は法人化を迎え衣替えのまっただ中にある。それに加えて旧佐賀医科大学は昨年10月の統合により佐賀大学医学部となり、学部としての対応にまだ戸惑いを覚えている最中でもある。法人化を迎え、経営戦略、評価や個性化を求められる今日、医学部はどこにいくのか地に足の着いた論議のもと医学部の方向性を模索する時である。

平成15年度に17号を迎えたこの業績年報も法人化に伴い医学部となることで一応の区切りとする考え方もあったが、大学全体としての業績年報発行の見通しがついていないという状況の中で、教育と研究は車の両輪という考えのもと継続すべきであるという判断により新しく立ち上げることになった。

前執行部により医学部の活性化に大きく貢献するものと思われるいくつかの改革がなされた。昨年4月に発足した「地域医療科学教育研究センター」は1年を迎え、早速活躍をはじめた部門も出始めてきた。大学院の医科学専攻はそれに続く博士課程を立ち上げるべく模索している。講座再編に関連した研究スペースの見直しはさらに継続し、一方では再配分計画も進んでいる。任期制の導入計画は順調な滑り出しを見せ、現在70%弱の導入率である。ただ、周知徹底が十分ではないままスタートしたことが尾をひき、制度の整備をしているところである。

今年度に入り特筆すべきことは、我が医学部に寄付講座ができることである。地方大学の医学部としては快挙である。医学部の科学研究費も前年度よりのび、過去最高である。医学部の全学に占める割合は45%と高いが、他大学と比べると医学部としての獲得額はまだまだ十分ではなく努力の余地があると自覚している。特に医科大学から医学部へ変わったことで講座費も相当な圧縮が予想され、研究費は講座費に頼ることなく外部資金で行う時代が到来している。概算要求も今までとは様変わりであり、大学の経営戦略のもとに行うことになり医学部としての要求が全学の要求になるようなテーマを提出する必要がある。

法人化したものの、運営費の面で国に頼らざるを得ない構造は同じであり、佐賀大学の場合経費の約40%は文部科学省から配分される。ただ以前と違うのは、6年間の中期目標計画を立て、その結果を評価され、出来高に応じて配分するという厳しい現実が待ち構えている。全学、各学部あげて立ち向かう課題である。

凡 例

- 1 この研究業績は、本学の専任教官、医員、医員（研修医）、大学院生、研究生、専攻生及び技官が、平成15年1月1日から平成15年12月31日の間に、またはこの期間の日付で発行（発表）した研究業績を収録した。

また、平成14年12月31日以前の研究成果のうち、未収録であったものを追加して収録した。

- 2 複数の講座等（講座内研究グループを含む）にまたがってまとめられた研究成果は、各々重複して掲載されている。そのため、著書、学術論文及び学会発表については、業績番号の次に以下のように区分記号を付した。

無印…………筆頭著者（発表者）が当該講座等（講座内研究グループを含む）に所属する研究成果

○印…………筆頭著者（発表者）が本学内の他の講座等（講座内研究グループを含む）に所属する研究成果

*印…………筆頭著者（発表者）が本学外に所属する研究者である研究成果

目 次

基礎医学系

分子生命科学講座	1
(旧生化学講座, 旧薬理学講座, 旧一般教育等化学, 旧一般教育等生物学, 旧免疫・血清学講座)	
生体構造機能学講座	11
(旧解剖学講座, 旧生理学講座)	
病因病態科学講座	16
(旧病理学講座, 旧微生物学講座)	
社会医学講座	22
(旧地域保健科学講座, 旧法医学講座, 旧一般教育等英語, 旧一般教育等哲学)	

臨床医学系

内科学講座	30
膠原病・リウマチ	
神経	
消化器 (光学医療診療部を含む)	
循環器	
代謝・内分泌	
呼吸器	
血液	
腎臓	
皮膚	
精神医学講座	53
小児科学講座	54
外科学講座	61
一般・消化器	
胸部	
整形	
形成	
脳神経	
泌尿器	
産科婦人科学講座	81
眼科学講座	85
耳鼻咽喉科学講座	89
放射線医学講座	92
(放射線部を含む)	
麻酔・蘇生学講座	96
(手術部・集中治療部を含む)	

歯科口腔外科学講座	100
臨床検査医学講座 (検査部・輸血部を含む)	104
救急医学講座 (救急部を含む)	107
地域医療科学教育研究センター	
医療情報・遠隔医療システム部門	110
福祉健康科学部門	110
地域包括医療教育部門	113
看護学科	
看護基礎科学講座	115
成人・老年看護学講座	116
母子看護学講座	119
地域・国際保健看護学講座	119
附属病院	
総合診療部	122
医療情報部	124
リハビリテーション部	125
薬剤部	126
看護部	127
附属施設等	
保健管理センター	129
附属動物実験施設 (現：総合分析実験センター生物資源開発部門)	130
附属実験実習機器センター (現：総合分析実験センター機器分析部門)	131

総論

1. 研究業績刊行物等の件数

著作物	数	著作物	数
著書（和文）	237	症例報告（和文）	0
著書（英文）	16		
学術論文（和文）	346		
学術論文（英文）	273		

2. 研究経費（文部科学省，厚生労働省その他の省庁，地方公共団体，民間団体等からの研究助成金）の採択状況

(1) 文部科学省科学研究費補助金	79件	130,900,000円
内訳		
基盤研究（B）一般	7件	36,900,000円
基盤研究（B）海外	3件	6,300,000円
基盤研究（C）一般	41件	50,300,000円
萌芽研究	3件	4,900,000円
若手研究（B）	24件	30,500,000円
(2) 厚生労働科学研究費補助金	2件	29,000,000円
(3) 受託研究	14件	16,683,362円

3. 学位授与件数

課程博士 12人，論文博士 15人，看護修士 12人

4. 学術国際交流基金事業

海外の研究者等受入れ助成

対象者	招聘研究者	招聘期間	支出額
総合診療部・教授 小泉 俊三	アメリカ合衆国 ハーバード大学医学部 faculty development 部・部長 Janet Palmer Hafler	平成15年7月21日～ 平成15年7月27日	1,195,300円
総合診療部・教授 小泉 俊三	アメリカ合衆国 ハワイ大学 医学部医学教育部・副部長，国際交流部 長 Gordon Greene	平成15年7月22日～ 平成15年7月26日	309,057円

留学生の受入れ助成, 学費等助成

所 属	氏 名	指 導 教 官	助 成 期 間	支給総額
機能形態系専攻 (博士課程) 2年	朴 美花	病因病態科学・教授 徳永 藏	平成15年4月～ 平成16年3月	360,000円
基礎看護学専攻 (修士課程) 2年	胡 景	基礎看護学・教授 井上 範江	平成15年4月～ 平成16年3月	360,000円

5. 教官の異動

平成15年1月1日から12月31日の間における講師以上の教官の異動は復職, 休職を除き30名であった(人事異動参照)。

分子生命科学講座高井成幸教授, 生活行動支援学講座酒井誠教授, 基礎看護学講座井上悦子教授, 臨床看護学講座田崎考教授の4名が定年により3月31日付けをもって退官となった。永年本学の発展のために果たされたご苦労に対し感謝したい。

また, 本学医学部から転出された10名の諸先生方のこれまでのご活躍に感謝し, 今後益々のご発展を期待したい。

4月1日には臨床看護学教授に佐藤和子氏(大分県立看護科学大学看護学部教授)が就任した。昇任人事は14名であった。分子生命科学教授に吉田裕樹氏(九州大学生体防御医学研究所助教授), 医療情報部教授に庄野秀明氏(同助教授)が教授昇任となった。その他昇任人事は助教授昇任5名, 講師昇任7名であった。

今後ますますのご健闘をお祈りしたい。

異動年月日	所属・職名	氏 名	異動の内容
15. 1. 1	医療情報部・教授	庄 野 秀 明	昇任(本学医療情報部助教授から)
15. 3. 1	歯科口腔外科学・助教授	式 守 道 夫	昇任(浜松医科大学医学部附属病院講師から)
	臨床看護学・助教授	藤 田 君 江	昇任(本学臨床看護学講師から)
	精神科・講師	川 島 敏 郎	昇任(本学精神医学助手から)
15. 3. 31	分子生命科学・教授	高 井 成 幸	定年退職
	生活行動支援学・教授	酒 井 誠	定年退職
	基礎看護学・教授	井 上 悦 子	定年退職
	臨床看護学・教授	田 崎 考	定年退職
	内科学・助教授	宇都宮 俊 徳	辞職(武雄市民病院へ)
	内科・講師	大 森 啓 造	辞職(福岡和白病院へ)
	精神科・講師	原 富 英	辞職(佐賀県立病院好生館へ)
	泌尿器科・講師	藤 山 千 里	辞職(佐藤病院へ)
15. 4. 1	基礎看護学・助教授	濱 野 香 苗	昇任(長崎大学医学部保健学科教授へ)
	臨床看護学・教授	佐 藤 和 子	採用(大分県立看護科学大学看護学部教授から)
	基礎看護学・講師	小 林 幸 恵	昇任(島根医科大学助手から)

15. 5. 1	地域医療科学教育研究センター・助教授	松尾清美	採用（労働福祉事業団総合せき損センターから）
15. 6. 1	内科学・助教授	安藤高志	採用（福岡赤十字病院から）
	耳鼻咽喉科・講師	宮崎純二	昇任（耳鼻咽喉科学助手から）
15. 6. 30	内科・講師	高島洋	辞職（佐賀県立病院好生館へ）
15. 7. 1	臨床検査医学・助教授	青木洋介	昇任（内科講師から）
15. 8. 1	内科学・助教授	末岡榮三朗	昇任（内科学助手から）
	外科（一般・消化器）・講師	北島吉彦	昇任（外科学助手から）
15. 9. 1	分子生命科学・教授	吉田裕樹	昇任（九州大学生体防御医学研究所助教授から）
15. 9. 30	生体構造機能学・助教授	篠田謙一	辞職（独立行政法人国立科学博物館へ）
15. 10. 1	呼吸器内科・講師	末岡尚子	昇任（本学内科助手から）
	神経内科・講師	黒原和博	昇任（本学内科助手から）
	胸部外科・講師	大坪諭	昇任（本学外科助手から）
	実験実習機器センター・助教授	能見光雄	転任（佐賀大学総合分析実験センターへ）
	動物実験施設・助教授	森本正敏	転任（佐賀大学総合分析実験センターへ）
	保健管理センター・講師	尾崎岩太	転任（佐賀大学保健管理センターへ）